

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回 飯塚市高齢社会対策推進協議会
開催日時	令和7年8月28日 14:00～15:15
開催場所	飯塚市役所 本庁2階多目的ホール
出席委員	岩見会長、重岡副会長、澁田委員、澤田委員、原田(良)委員、多田委員、上田委員、坂口委員、上野委員、大久保委員、原田(琴)委員、木山委員、田中委員、川上委員
欠席委員	齊藤委員、山根委員、西村委員、井上委員、靱井委員、嶋田委員
事務局職員	介護保険課：許斐課長、寺敷課長補佐、佐藤係長、西係長、吉原係長、仲村係長、赤坂 高齢者支援課：村上課長、荒巻係長
会議概要	1 開会 2 議題 (1) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【新規】 3 報告事項 (1) 指定地域密着型サービス事業所の指定について【更新】 (2) 指定居宅介護支援事業所の指定について【更新】 (3) 指定居宅介護支援事業所の指定について【休止】 (4) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【新規】 (5) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【更新】 (6) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【廃止】 (7) 第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について 4 その他 (1) データで見る飯塚市の介護認定の概況と今後の展開 (2) 今後のスケジュールについて 5 閉会

会 議 録

会議資料	●資料 1 (1) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【新規】 ●資料 2 (1) 指定地域密着型サービス事業所の指定について【更新】 (2) 指定居宅介護支援事業所の指定について【更新】 (3) 指定居宅介護支援事業所の指定について【休止】 (4) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【新規】 (5) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【更新】 (6) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【廃止】 ●資料 3 第 9 期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（令和 6 年度）の進捗状況について
公開・非公開の別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)
会議内容	① 議題1：介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【新規】 指定申請書に基づく「第一号通所事業所（通所型サービスA1）」の1事業所について説明し、承認。 (別紙資料1) ② 報告事項1：指定地域密着型サービス事業所の指定について【更新】 指定更新申請書に基づく「地域密着型通所介護」の3事業所、「（介護予防）認知症対応型共同生活介護」の1事業所、「（介護予防）小規模多機能型居宅介護」の1事業所について更新を報告。 (別紙資料2) ③ 報告事項2：指定居宅介護支援事業所の指定について【更新】 指定更新申請書に基づく「指定居宅介護支援」の1事業所について更新を報告。 (別紙資料2) ④ 報告事項3：指定居宅介護支援事業所の指定について【休止】 休止届出書に基づく「指定居宅介護支援」の1事業所について休止を報告。 (別紙資料2) ⑤ 報告事項4：介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【新規】 指定申請書に基づく「第一号訪問事業所（訪問サービス現行相当・訪問型サービスA1・A2）」の1事業所、「第一号訪問事業所（訪問サービス現行相当）」の1事業所、

	「第一号通所事業所（通所サービス現行相当・サービスA）」の1事業所、「第一号通所事業所（通所サービスA）」の1事業所、「第一号通所事業所（通所サービス現行相当）」の1事業所について新規を報告。 (別紙資料2) ⑥ 報告事項5：介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【更新】 指定更新申請書に基づく「第一号訪問事業所（訪問サービス現行相当・サービスA1・A2）」の3事業所、「第一号訪問事業所（訪問サービス現行相当・サービスA1）」の1事業所、「第一号通所事業所（通所サービス現行相当・通所型サービスA）」の2事業所、「第一号通所事業所（通所サービス現行相当）」の1事業所、について更新を報告。 (別紙資料2) ⑦ 報告事項6：介護予防・日常生活支援総合事業第一号指定事業所の指定について【廃止】 廃止届出書に基づく「第一号訪問事業所（訪問サービス現行相当・訪問型サービスA1・A2）」の3事業所、「第一号訪問事業所（訪問型サービスA1）」の1事業所、「第一号通所事業所（通所サービス現行相当）」の2事業所について廃止を報告。 (別紙資料2) ⑧ 報告事項7：第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について 令和6年度の進捗状況について報告。 (別紙資料3) A委員：フレイルについて、市民にもっと知らせていただきたい。 フレイルサポーターの数は十分なのか、また、半数位しか活動していないのではないか。フレイルサポーターの自主活動は市の取り組みか。活動場所を増やして啓発していただきたい。 事務局：フレイル予防の普及啓発については、今年度も引き続き取り組む。イオン穂波店、福祉のつどい、ゆめタウンで、イベントを開催予定。市報やホームページ等で随時周知を行う。 フレイルサポーターは、市の登録103名、全員が参加可能ではない現状があり、その差をどうしていくかが今後の課題。基本強制ではなく、ボランティア活動の一環としてやってもらっている。 フレイルサポーターの自主活動は、企業、施設、病院での取り組みについては、フレイルサポーターの自主的な発案で自主的に活動をされている取り組みであり、市の方では、出務の調整や、対外的な広報活動について協力をしている。
--	---

会 議 録

今年度にフレイルサポーターさんが独自で組織化をする取り組みをされていて、その中の取り組みの活動として自分たちでできることを探して普及啓発に取り組むということで、今年度動かれている状況である。

B委員：No. 4の認知症サポーターの養成のところで、サポーターの年間養成者数が、令和5年から令和6年にかけてガクンと減った要因はなにか。

No. 6の事業・取組内容の介護認定審査会の簡素化とは、具体的にどういうふうに簡素化されているのか、内容を教えていただきたい。

事務局：令和5年度、多かった要因は、地域の福祉委員の方への講座を、集中して行って、かなり伸びたというのが現状である。

介護認定の更新申請で、前回の訪問調査の内容、主治医意見書の内容等が前回と今回の内容とではほぼ一致しているような内容、状態の安定された方は、同じこれまでと同様の要介護判定をした後に、認定有効期間を36ヶ月、また48ヶ月に延長して認定をする形で、より多くの認定者の方を判定させていただく形で迅速化させていただいている。

B委員：認知症サポーターの7年度の活動について教えていただきたい。

簡素化で更新申請の方は、同じ介護度に3年から4年に認定するということで、途中で悪化があった場合は受け付けるのか。

事務局：認知症サポーター養成講座の令和7年度の取り組みは、企業や学校への呼びかけを重点的に行っている状況である。市民講座は定期的開催予定。

認定審査会の簡素化の部分は、期間を48ヶ月と延長している部分、その期間中でも、状態が変わったら認定の変更申請を出していただき、そこで審査会の方で判定する。

C委員：給付適正化に関して、高齢者向け住まい等対策ケアプラン点検、これは飯塚市の居宅支援事業所だけを点検されたのか。それを含めてケアプランの点検のヒアリング、飯塚市外と飯塚市内の居宅支援事業所の点検の割合を教えてください。

事務局：市内の事業所だけでなく、市外の事業所も点検している。割合は、今ここでは把握できていない。

C委員：市外の事業所に対して、同じような指導をされているのか、その数を次回でもいいので教えていただきたい。

事務局：市内の事業所も市外の事業所も指導内容としては、厚労省の基準にのっとり指導しているので、同等の指導をしている。割合は次回報告する。

⑨ その他1：データで見る飯塚市の介護認定の概況と今後の展開

データで見る飯塚市の介護認定の概況と今後の展開について説明。

A委員：A市、B市は、要支援から自立して卒業する人が大きい、通いの場の充実、この通いの場というのを具体的にどういうものか教えていただきたい。

地域的に何か活動されてあるのか、市が何か準備されたものなのか。

事務局：通いの場の中身までは詳しくはお聞きしていないが、通いの場の件数、集まる人の件数が全然飯塚市とは違う件数で、1年を通して行われている。A市、B市について、そのような状況であることは聞いている。A市は、箇所数が196ヶ所位、B市は、67ヶ所位あり、その通いの場が多いので、そのために参加者も1か月で、A市は、2,550人位、B市については927人位来られていると聞いているが、通いの場の中身までは具体的には把握できていない。

A委員：飯塚市には、通いの場がないということか。

事務局：あるが、箇所数も参加者数も少ない現状である。

A委員：通いの場、とにかく家を出て、社会参加というか、地域でも何でも、とにかく出ていく場ということと思う。そういうのが多ければ、出ていけて刺激を受けていいなと思うので、具体的にわかったらと思ってお尋ねした。

C委員：今現状、飯塚市内に、いきいきサロンというのが結構あるが、地域によっては全く行われてない地域もある。そこにどうやって通っていくか、交通手段がなくご近所で協力して行けるところ、全く行けないところがあり、中心地の方では結構盛んにされているが、庄内地区とか筑穂地区とかそこらへんになってくると厳しくなってきた、行きたくても行けないような状況がある。

D委員：このデータの解析に関しては、違う行政区と比較するのは、かなり難しいところがあると思う。人口構成が違うし、疾患のリスクもあるだろうし、だからそれを、絶対的に評価しようとする公正化をすることが非常に大事になってくると思うが、多分生のデータと付き合わせて、どっちがこっちが多いと言って0.5%とか何%かの差があるというのは、本当に意味のある差なのかどうなのかというのは、このデータからはちょっとわからないというがあるので、とにかく実際その悪化して改善しないデイケアとかデイサービスでリハビリをしたにも関わらず改善しない人がいるという、そういう傾向が見えるので、それをどう改善していくかということを考えると、そこが大事なのではないかなと思った。

会 議 録

	B委員：いきいきサロンのこと言われたが、年齢的に他の施策とあわせて支えていくのがすごく必要かなと思った。 ⑩ その他2：今後のスケジュールについて ・第3回協議会開催日（予定） 令和7年11月26日(水)午後2時から 飯塚市役所1階多目的ホール
--	--